

# 環境保全

地球環境を考えながら、様々な研究・支援活動に取り組んでいます。



南港発電所 (ISO14001外部認証を取得)

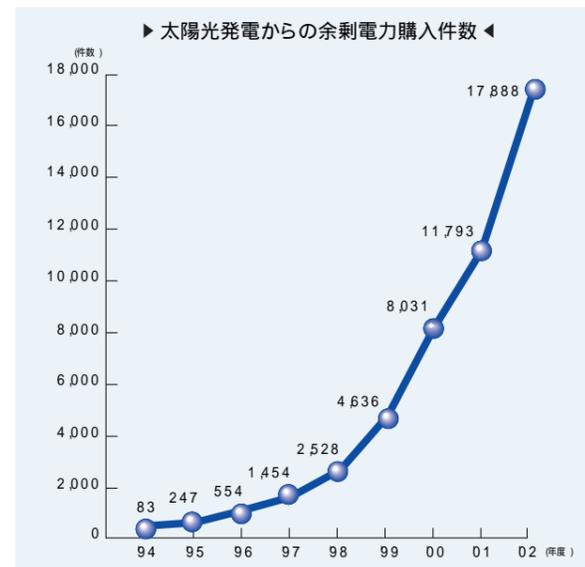


当社がお届けする電力が「エコリーフ環境ラベル」を電力会社で初めて取得しました。これは、製品に関する定量的な環境負荷データについて第三者による認証を受け、開示するものです。

CO<sub>2</sub>の排出削減による地球温暖化の抑制、ISOの国際規格に適合した環境管理システムの構築、さらに、循環型社会を実現するための様々な取り組みを通じて、地球環境の保全に取り組んでまいります。



「関西グリーン電力基金」の助成による太鼓山風力発電所 (事業主体・京都府)



マングローブに関する研究



太陽光発電パネル (南港発電所)

### 地球温暖化防止のために多彩な活動を展開

地球温暖化問題に対応するため、関西電力は、CO<sub>2</sub>排出削減に積極的に取り組んでいます。発電時にCO<sub>2</sub>を排出しない原子力発電の推進、火力発電の熱効率向上、排煙脱炭技術の開発、さらには、原子力発電の比率が高い夜間の電気を利用した蓄熱機器の研究開発など、さまざまな分野において具体的な取り組みを実施しています。また、海外でもCO<sub>2</sub>削減のための積極的な活動を展開しています。タイでのマングローブ植林技術の開発に関する研究や西豪州における環境植林事業など数々のプロジェクトを推進し、CO<sub>2</sub>削減のために多彩な活動を展開しています。

### クリーンエネルギーの支援

関西電力は、お客さまが設置した設備により発電された風力、太陽光発電の余剰電力の購入を積極的に行うとともに、風力や太陽光発電の普及促進を図るため設立された「関西グリーン電力基金」への支援も行っています。2003年4月には「RPS法」(「電気事業者による新エネルギー等の利用に関する特別措置法」)が施行されたことを受け、新エネルギーの自主開発などの取り組みを強化し、その更なる普及促進に貢献してまいります。

### 循環型社会への対応

関西電力は、循環型社会に適合した事業活動を実現すべく、産業廃棄物等の発生抑制 (Reduce)、再使用 (Reuse)、再生利用 (Recycle) の廃棄物3R活動を進め、埋立処分される廃棄物の排出をゼロにすることを目指しています。例えば、火力発電所から発生する重原油灰や脱硫石膏、配電設備の低圧電線やコンクリート柱は、既に100%リサイクルしています。また、電線防護管などについて、今年度から自社の廃材をリサイクルした製品を100%購入するなど、環境への負荷が小さい製品を優先的に購入する「グリーン購入」にも積極的に取り組んでいます。さらには、グループの事業としても、さまざまなリサイクルに取り組んでおり、ダム流木から畜産敷材、肥料、土壌改良材などを創り出す事業や汚泥焼却灰などの廃棄物をレンガ風のブロックに再生する事業、さらには発泡スチロール等のポリスチレン製品を独自の溶剤を用いてリサイクルする事業などを行っています。

### 国際規格に適合した環境管理システムの構築

環境管理システムの充実を図るために、関西電力は、ISO (国際標準化機構) の国際規格に適合する管理システムの構築を推進しています。その一環として、南港発電所をはじめ、12の事業所 (2003年3月末現在) においてISO14001の外部認証を取得しています。

